

原子力発電所の事故対応等における労働安全衛生対策強化に関する要請を実施

連合は、5月20日、首相官邸、文部科学省、厚生労働省それぞれに対し、「原子力発電所の事故対応等における労働安全衛生対策強化に関する要請」を行った。

冒頭、團野副事務局長は「復旧作業にあたるすべての労働者の命と健康を守る観点から労働安全衛生対策の強化をお願いしたい」と、業務に携わる労働者の安全衛生対策に万全を期すよう強く要望した。

福山官房副長官は「官邸としても、関係省庁と連携ししっかり取り組んでいきたい」との発言があった。

また、林文部科学大臣政務官は「労働環境はもちろん、正確な情報発信は大変重要。関係省庁で連携の上、一元的かつ一体的に取り組んでいきたい」との発言があった。

小林厚生労働大臣政務官は「労働者の安全は最優先であり、できることはやっていきたい」と述べ、本日付で「福島第一原発作業員健康管理等対策推進室」を立ち上げ、政府としても作業員の健康管理対策等の推進に向け全力を挙げて取り組むとの発言があった。

<要請のポイント>

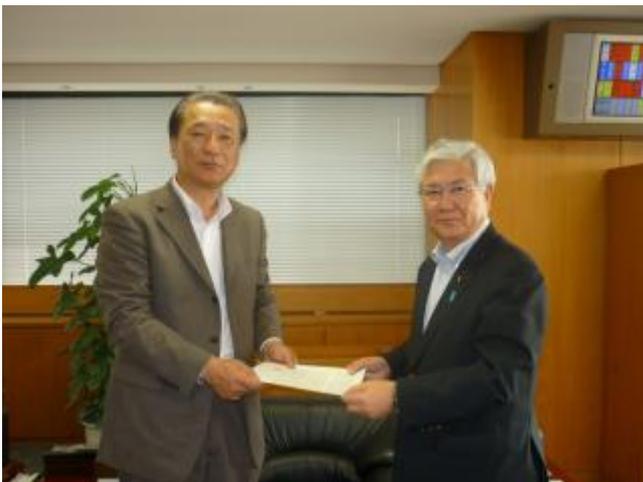
1. 福島第1原子力発電所の事故対応に従事するすべての労働者への労働安全衛生対策の強化
2. 警戒区域、計画的避難区域およびその周辺で働くことを余儀なくされた労働者に対する労働者への安全衛生対策強化
3. 原発事故収束までに長期間を要し、多数の労働者が働くことが予想されるため、放射線量や健康への影響などについて、政府として一元化された正確な情報の開示を行う
4. 復旧・復興事業に際してのアスベスト・危険有害物質のばく露、過労等を防止するための、労働安全衛生および災害防止策を徹底する



福山官房副長官（左）に要請書を手渡す團野副事務局長（右）



林文部科学大臣政務官（右）に要請書を手渡す團野副事務局長（左）



小林厚生労働大臣政務官（右）に要請書を手渡す團野副事務局長（左）